

平成 30 年度 第 1 回 学校運営協議会

日 時 平成 30 年 6 月 14 日 (木) 15:15～17:00

場 所 大阪府立中央聴覚支援学校 高等部 4 階会議室

1 開会

2 学校長挨拶

3 学校運営協議会委員ならびに事務局・教職員の紹介

4 学校の様子について

- ・各部の紹介および取り組みについて報告
- ・熊本地震被災地へのボランティア活動のビデオを紹介

5 議事

平成 30 年度学校経営計画について 学校長より説明

<委員からの意見・質問>

- ・生徒が企画する避難訓練というのは大変興味深い。
- ・他の支援学校へのボランティアなども考えられるのではないか。
- ・小学生などをねらった犯罪が後を絶たないが、下校の様子はどのようになっているか。
→ (校長より) 小学部 2 年生までは保護者が送迎。自力通学の練習をしたのち、学校から最寄の駅まで教員が付き添って集団下校をしている。
- ・大きな災害時、ろう難聴の人の死亡率が高くなっている。助かった人は地域とのつながりが強い。子どものうちから地域の人にあいさつをするなど地域とのつながりをもたせたい。
- ・子どもたちの周囲には手話のわかる人ばかりがいるわけではない。手話ができない人を批判的に見るのではなく、「きこえる人に、わかりやすく楽しみながら手話をおぼえてもらうには」と考えられるようになってほしい。必要なのは、仲間作りがうまくなる力である。
- ・本校に通う子どもは、住所が近隣でなくても地域の子どもとして考えている。学校近隣の公園に防犯カメラを設置する予定がある。また、地域文化祭への参加など今後も地域とのつながりをもち、一緒によりよい地域づくりを担ってほしい。
- ・一般高校の生徒や教員に「きこえにくい」ということについての共感的理解を広げることにはできないか。
→ (校長より) 平成 29 年度より、大阪市内と守口市内の府立高校への支援を始めている。情報誌『みみねっと』の配信やオープンスクールなどでも理解を広げて行けたらと思う。
- ・新学習指導要領に関する取り組みはどのようになっているか？
→ (校長より) 幼稚部ではすでに改訂した教育要領による保育が始まっている。中学部の英語科の教員が小学部へ出前授業を行うことや、高等部の履修科目の改編を予定している。

・主体的・対話的な学びについてはどのように考えているか？

→（校長より）幼小中高一貫校の強みを生かして、先生たちも部を超えて交流し、研究・研修を進めたい。

・自立活動プログラムやキャリア教育プログラムなど、本校独自のプログラムを活用し、実行と検証をすることが大切。各種検定や資格取得のための取り組みも積極的にすすめてほしい。

→（校長より）ビジネスマナーを含めた本校独自の職業技能検定を作成したい。

6 事務局より連絡

今後の学校運営協議会の予定について

7 閉会